

スクールバスの運行は、現在のところ市の財政状況から、その導入については考えていない。

農業振興

問 本市の名産の落花生の増産支援対策の充実を図るべきと考えるがどうか。

市長 本市における落花生栽培は、平成17年産は、作付面積813ヘクタール、収穫量2千180トンであり、全国的に有名な産地として日本の生産を誇っている。品質の向上、生産の安定、消費の拡大を図ることが重要と考えている。今後も落花生産地として誇れるよう取り組みを進めたい。

問 本市の農業振興のために2007年問題に象徴される団塊の世代の知識や経験を本市において農業に従事などしていただく施策を推進すべきと考えるがどうか。

市長 県では定年退職後の新規就農者や新規参入者なども含めた「農業者養成研修」の開講や、帰農者支援セミナーなどを開催している。

本市も、多くの方が参加していただけるよう周知を図るとともに、情報提供などを通じて支援をしていきたい。

道路交通網の整備

問 市内の交通渋滞解消等を図るため、新たな南北をつなぐバイパス道路をどのような計画の中で推進しようとするのか。

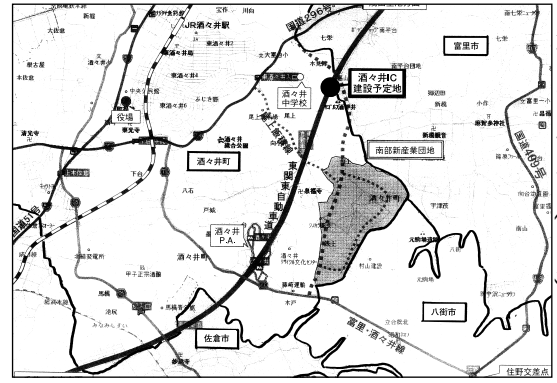
市長 現在、市内の交通渋滞の最も大きな要因は、交通量の多い国道千葉八街横芝線と国道409号が、市内中心部で交差することによって引き起こされていると考えられる。

幹線・補助幹線とな



▶落花生ぼっち

◀酒々井IC位置図(予定)



もに、既に都市計画決定されている都市計画道路などの整備について、検討していきたい。

問 酒々井インター整備や周辺大規模開発に伴う本市の接続道路の整備促進をどのように考え、どのように推進するのか。

市長 本市においても、酒々井インターチェンジの設置は、市の活性化につながるものと考えているので、県や関係市町と協議・調整を図り、本市の接続道路の整備促進に努めていきたい。

学校教育の振興

問 本市の学校からいじめを完全になくすべきである。私もも相談窓口などの一翼を担って「いじめ」撲滅に全力で取り組む。そこで、本市として、どのように取り組んでいくのか。

教育長 各小・中学校においては、日常の観察や相談、アンケート調査等を行い、問題が大きくなる前に解決が図れるよう、早期発見、早期解決に努めている。

日頃から児童・生徒が発する危機信号を見逃さないようにして、問題の解決については、学校のみで解決することに固執せず、保護者と連絡をとりながら、地域や関係者全員で取り組む体制をとっていきたい。

個人 会嶋 誠治

健康づくり

問 成人歯科検診の実施が必要と考えるがどうか。

市長 幼児期から高齢期のさまざまなライフステージ

において口腔衛生の改善や健康の保持増進を図っている。成人歯科検診の実施は、今のところ考えていない。

環境対策

問 バイオマス等の地域資源の利活用に向けた取り組みをどのように考え、どのように実施していくのか。

市長 バイオマス関係事業所などと協力して、バイオディーゼルやバイオ石けんなど、廃棄物の有効再利用の導入も検討していきたい。

高齢者福祉の充実

問 本市の地区社会福祉協議会の機能充実が必要と考えるが、今後具体的にどのような取り組みをいくのか。

市長 地区社会福祉協議会の機能を充実させるため、平成18年度から子育て支援推進事業に対する助成が行われ、高齢者とのふれあいなどによる地域福祉の増進が図られている。

市社会福祉協議会に対する支援を行うとともに、地域で支え合う福祉活動の充実に努めていく。

個人 加藤 弘

商工業の振興

問 市発注の50万円以下の公共工事を市内事業者が発注する制度は具体的にどのような仕組みで進めるのか。

市長 この事業は、市内在住の小規模事業者を対象に実施するものであり、小規模事業者の受注機会を拡大することにより、小規模事業者の育成や地域経済の活性化に寄与することを目的とするものです。3月頃、市のホームページや広報やちまたにより、市民の皆様にお知らせする予定である。

障がい福祉サービスの充実

問 本市の担う障がい者福祉施策の充実に、どのように取り組んでいくのか。

市長 障がいを持つ方に対する支援を計画的かつ効果的にどのように提供していくのかを定める障がい福祉計画を、今年度中に策定することが義務づけられているので、どのようなサービ